

平成 29 年 9 月 26 日

長野県感染対策研究会  
代表世話人 本田孝行  
長野県臨床検査技師会 感染対策委員会  
担当者 三浦 信樹

信州インфекションコントロール・サーベイランスシステム(SICSS)  
による長野県各地区の耐性菌分離状況についての報告  
～2017 年 8 月データについての報告～  
(データ集計日：2017 年 9 月 25 日 集計対象施設数：55 施設)

2017 年 8 月の VRSA、多剤耐性アシネトバクターの分離はありませんでした。

<VRE の分離状況について>

VRE が中信地区で 10 株、北信地区で 1 株分離されました。各事例とも感染対策を実施中であり、中信地区の分離数にはアクティブサーベイランスによる分離数が含まれています。なお、分子疫学的解析結果より中信地区と北信地区の事例に関連性はないと考えられますが、県内における分離率が 0.20 % であり、JANIS での全国の分離率の 0.02 % (2015 年 10 月～12 月 四半期報) を大きく上回っており今後の動向に注意が必要です。

<MRSA の分離状況について>

長野県全体の分離率は 6.67 % でした。JANIS での全国の分離率は 6.47 % (2015 年 10 月～12 月 四半期報) であり、全国と比較するとやや高い状況と考えられます。東信地区以外は 7 月と比較して分離率の僅かな上昇を認めています。

<多剤耐性緑膿菌の分離状況について>

8 月における多剤耐性緑膿菌の分離はありませんでした。JANIS での全国の分離率は 0.07 % (2015 年 10 月～12 月 四半期報) であり、全国と比較すると低い状況にあると考えられます。なお、1 例でも分離が認められたご施設には、感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡申し上げます。

<第三代セファロスポリン耐性大腸菌の分離状況について>

長野県全体の分離率は 3.07 % でした。県全体の分離率は横ばいですが、北信地区では分離率の上昇、東信地区では分離率の低下を認めました。JANIS での全国の分離率は 2.02 % (2015 年 10 月～12 月 四半期報) でした。JANIS で 2015 年集計分より用いられている第三代セファロスポリン耐性大腸菌の判定基準よりも、SICSS での判定基準の方が厳しく設けられているため、これらのデータは一概に比較はできません。なお、同一病棟または診療科から 3 例以上分離されているご施設には、感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡申し上げます。

耐性菌検出検査や SICSS データ等につきまして、ご不明な点などございましたら下記担当者までお問合せください。

お問い合わせ先

信州大学医学部附属病院 臨床検査部 春日 恵理子

TEL; 0263-37-3493、 e-mail; erika@shinshu-u.ac.jp